

会議録

- 1 題目 令和元年度岩手県立花泉高等学校 第2回学校評議員会
- 2 日時 令和2年2月25日(火) 15:40~17:00
- 3 会場 花泉高校会議室
- 4 出席者 学校評議員5名
花泉高職員9名 校長・副校長・事務長・総務主任・教務主任・
生徒指導主事・保健主事・進路指導主事・総務課員(記録)
- 5 協議 「令和元年度岩手県立花泉高等学校の学校運営・活動報告について」
 - (1) 令和元年度学校概況説明 (副校長)
 - (2) 令和元年度総務課活動報告 (総務主任)
 - (3) 令和元年度教務課活動報告 (教務主任)
 - (4) 令和元年度生徒指導課活動報告 (生徒指導主事・保健主事)
 - (5) 令和元年度進路指導課活動報告 (進路指導主事)
 - (6) 令和元年度学校評価結果・分析 (副校長)
 - (7) 令和元年度学校評価結果について (学校評議員)
 - (8) 資料編説明(花高通信・新聞記録) (副校長)
 - (9) その他 なし

5 意見交換

- ・評議員A ▶中学校三年生で他地区の高校を志望するものは、資格取得の有無や部活動の内容を重視する傾向が強い。花泉高校を志望するものは介護職や未定だが上級学校を目指したいといったやや弱い動機がある。一方、少人数の中で役割を与えられ活躍したいという願いも持っている。
 - ▶厳しい家庭環境の中でなんとか乗り切っている生徒がいるが、乗り切れず耐えられなくなって社会的支援を余儀なくされている生徒もいる。
- ・評議員B ▶インタラクティブを通して知った生徒が、授業参観で生き生きとしていた。学校が楽しいと語っており、リラックスして生活していることに気がついた。小規模校は自分が主役になれることあり、生き生きできるのではないかと。
 - ▶自分たちが学生の頃は言われたことをする教育であったが、現在は子供がいる教育が必要だと感じている。小中学校より高校の工夫が必要だと感じていたが、今日の授業で子供が主役の授業の方向を感じさせてもらった。
- ・評議員C ▶地域のマラソン大会で花泉高校の生徒が活躍してくれている。今後の地域を支える人材として、ともに歩みたいとの話題となっている。
 - ▶野球部の活躍はとてうれしいニュースであるが、学校の負担は大丈夫かとの思いもある。くれぐれも無理しないように願う。
- ・評議員D ▶学校評価のあり方について評議員としての評価は密着度の関係で難しいところがあった。保護者や生徒の評価が正直なところだと考える。
 - ▶評議員は外から見える生徒の素の姿を評価しているが、時に応じて学校との連携をとりながら今後も随時提言していきたい。
 - ▶学校評価の職員が分かれている部分において、組織として対応できる学校を目指して欲しい。
- ・評議員E ▶今回示された小規模校の再編計画に甘えることなく、地域の学校としての努力を続けて欲しい。
 - ▶野球部の活躍の裏で活躍を支える他の生徒の存在にも気づくことができる生徒に育てて欲しい。
 - ▶授業を通して多面的に生徒を理解することが大切だと考える。